

CSRマネジメント再構築プログラム (基礎編)

ISO26000への対応やグローバル展開など、従来の延長線では対応できない新たなCSRマネジメントの構築が求められています。

「CSRマネジメント再構築プログラム(基礎編)」は、CSRマネジメントの見直し・改善、または新たな体制造りを考えている企業を対象としたエントリープログラムです。主にCSR部門及び社内関連部門を対象にCSRの世界的動向を体系的に理解し、貴社の現状評価を行います。

また、本プログラムはCSR推進に対する社内の主体的意識の醸成と、協力関係の構築を視野に入れた構成となっております。

<プログラム内容>

(1) 勉強会

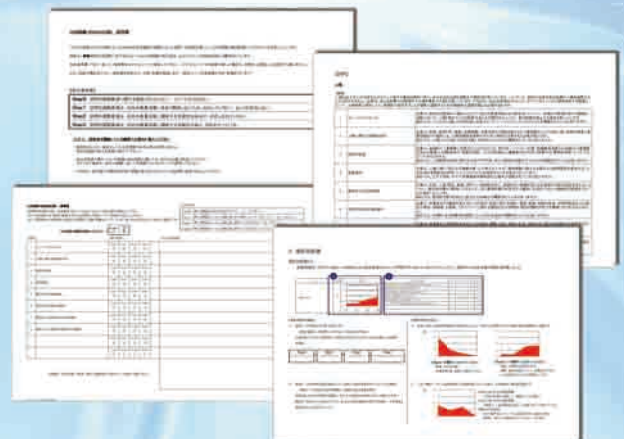
- CSR部門のメンバー及び社内関連部門のマネージャー層を対象とした集合形式の勉強会です
- ISO26000をテーマにした学習教材を使い、グローバルなCSRの本質を体系的に理解します

(2) CSR診断

- 勉強会参加者を対象に、ISO26000の中核主題を中心とした設問により現状評価を行う診断です
- 各設問項目に関する貴社の取り組み状況について、4段階の基準で自己採点して頂きます
- 定量データと言語データの分析により、達成度評価及びリスク評価を行います

(3) 付随サポート

- 勉強会及びCSR診断結果をもとに、今後の進め方に関するアドバイスをを行います



<費用>

一般・・・787,500円、当会会員・・・525,000円
(標準コース1回、25人まで、税込)

<お申し込み・お問い合わせ先>

経済人コー円卓会議日本委員会 山口

TEL:03-5728-6365 FAX:03-5728-6366

e-mail:info@crt-japan.jp Website <http://www.crt-japan.jp>

CSRマネジメント再構築プログラムの5つのポイント

(1) 勉強会

<Point1> ISO26000をわかりやすく解説した学習ページに確認問題及び解答・解説を加えた教材



- CSRの世界的潮流を理解する
- ISO26000とは何か?
- 世界では何が社会的責任として問われているか
- 社会的責任を果たすための原則と行動
- 貴社の位置付けと各部門の役割に関する考察

(2) CSR診断

<Point2> 概要説明をまじえた設問構成

【設問】

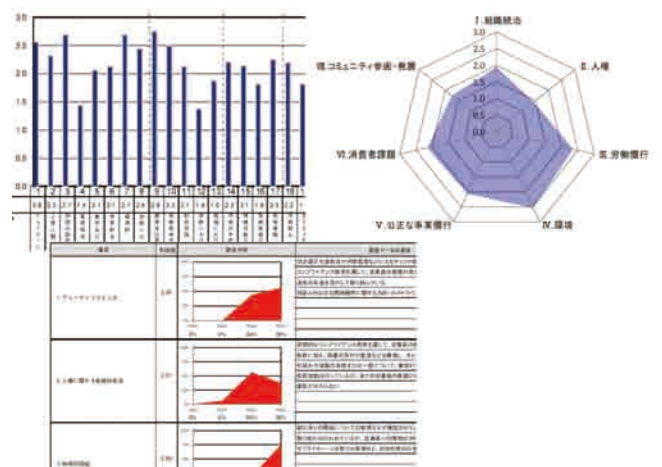
(中核主題Ⅱ) 人権

【概要】
人権は全ての人が生まれながらにして有する基本的権利であり、法や文化的伝統を超越する普遍性を持つことは許されません。企業は、自らの影響力の範囲内で人権を尊重する責任を負っています。すなわち、正しく、人権侵害に関与したり、受動的に容認することを確実に回避するための積極的な措置を講じる必要があります。

1	デューディリジェンス	企業は、自社の従業員の人権のみならず、自社の活動において、人権を脅かすような影響が生じる可 貴社では、このような人権リスクを特定し対応する
2	人権に関する危機的状況	企業は、紛争、政情不安、貧困、民族問題、児童労働活動を行う場合には、人権の尊重を確保するため 貴社では、人権リスクの高い状況を判断し対応する
3	加害の回避	企業は、直接的に人権侵害に加担することのみならず 間接的に加害に貢献する行為も回避する
4	苦情解決	自己採点
		コメント記述欄

<Point3> 4段階の自己採点とコメント記述による回答

<Point4> 定量データ平均値分析による達成度評価



<Point5> 回答分布と言語データ分析によるリスク評価

経済人コー円卓会議日本委員会の主な企業サポートプログラム

経済人コー円卓会議日本委員会では、このほかにも企業のニーズに対応した次のような様々なサポートプログラムをご用意しております。お気軽にご相談下さい。

<サポートプログラムの一例>

- トップインタビュー
- ステークホルダー・ダイアログ
- CSRレポート制作コンサルティング
- SRI調査対応支援
- 研修・セミナー
- e-ラーニングプログラム作成

(詳しくは弊会のホームページ(<http://www.crt-japan.jp>)をご覧ください)